

# 県指定文化財

# いしがみじょうあと 石神城跡

東海村の誇る、  
佐竹氏関連の貴重な  
城郭跡です★

## ▶石神城にはどんな歴史があるの？

石神城は、中世のお城です。城が機能していた中世においては東に旧久慈川が流れ、南北を深い谷地に挟まれた要害の地に作られていました。作られた時期については諸説ありますが、永享4年(1432)足利持氏感状に「常州石上城合戦」とあるため、この時期には作られていたと思われます。

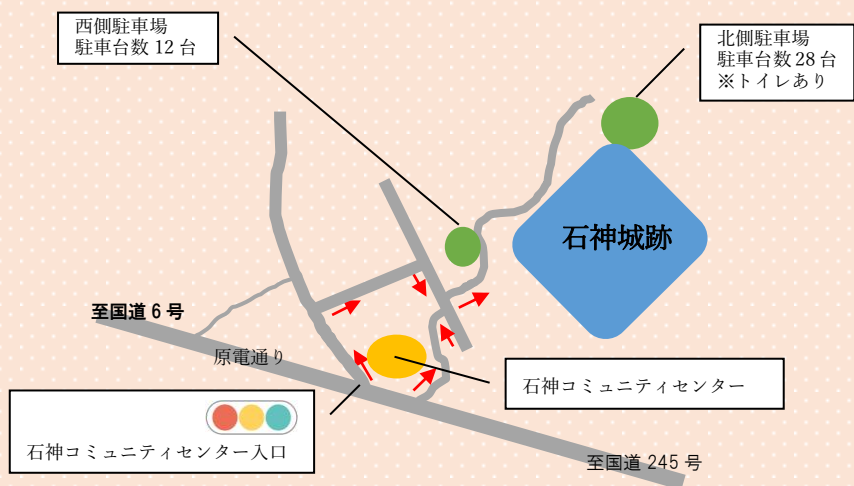
城主は佐竹氏家臣の石神小野崎氏です。天文15年(1546)頃、所領の境界をめぐるしばしば争い起きていた額田小野崎氏との間で合戦になり、その結果石神小野崎氏は敗北し、城から退去しました。しかしその後、佐竹氏への戦功により領地の維持と帰城が認められます。慶長7年(1602)佐竹義宣の秋田移封に従ってこの地を去り、石神城は廃城になりました。

## ▶石神城はどんなお城なの？

保存状態が非常によく、深い堀や周りをめぐる土塁など、当時の城の様子がよく残っています。平成元～2年には発掘調査を行い、建物跡や井戸の跡などを確認しました。発掘調査の成果からは、石神城は築城当初は戦いの際に地域の人々と臨時的に避難する逃げ城でしたが、戦国時代の終わり頃には堀や土塁を改修し、軍事性を大幅に高めた領主の城へと性格が変わったことが指摘されています。中心の郭の外にも土塁の一部が残っているほか、城の西側には城下町としての景観が見られ、南側には城主の石神小野崎氏の菩提寺である長松院などが立地しています。このように、石神城の歴史を城跡だけではなく地域全体に広がって見ることができるところも石神城の大きな魅力の1つです。

### ★アクセス案内

【所在地】東海村石神内宿1258 他



《電車でお越しの方》  
東海駅西口より徒歩約40分

《お車でお越しの方》  
東海スマートICより約10分 / 日立南太田ICより約10分

### ★見学の際の注意事項

- ・駐車場付近は道が狭くなっている所が多くあります。運転の際はご注意ください。
- ・現在、遠見城へのルートは、通路が整備されていません。急斜面(堀と土塁)の昇り降りが必要になりますので、見学の際は十分ご注意のうえ、自己責任でお願いいたします。
- ・堀の内など、倒木がある場合もございます。見学の際はご注意ください。

安全に注意して  
見学してね！

## 石神城の構造・見どころは？

中心の構造は 3 つの曲輪からなっています。「遠見城」と呼ばれる I 郭、「御城」と称される II 郭、そして II 郭のさらに西側に連なる III 郭です。主要部の遺構の保存状況は、茨城県内の中世城郭跡と比べても非常に良好といえます。深い堀やまわりをめぐる土塁など、当時の城の様子が分かる遺構がよく残っていますので、ぜひご覧ください。

### 遠見城(I 郭)

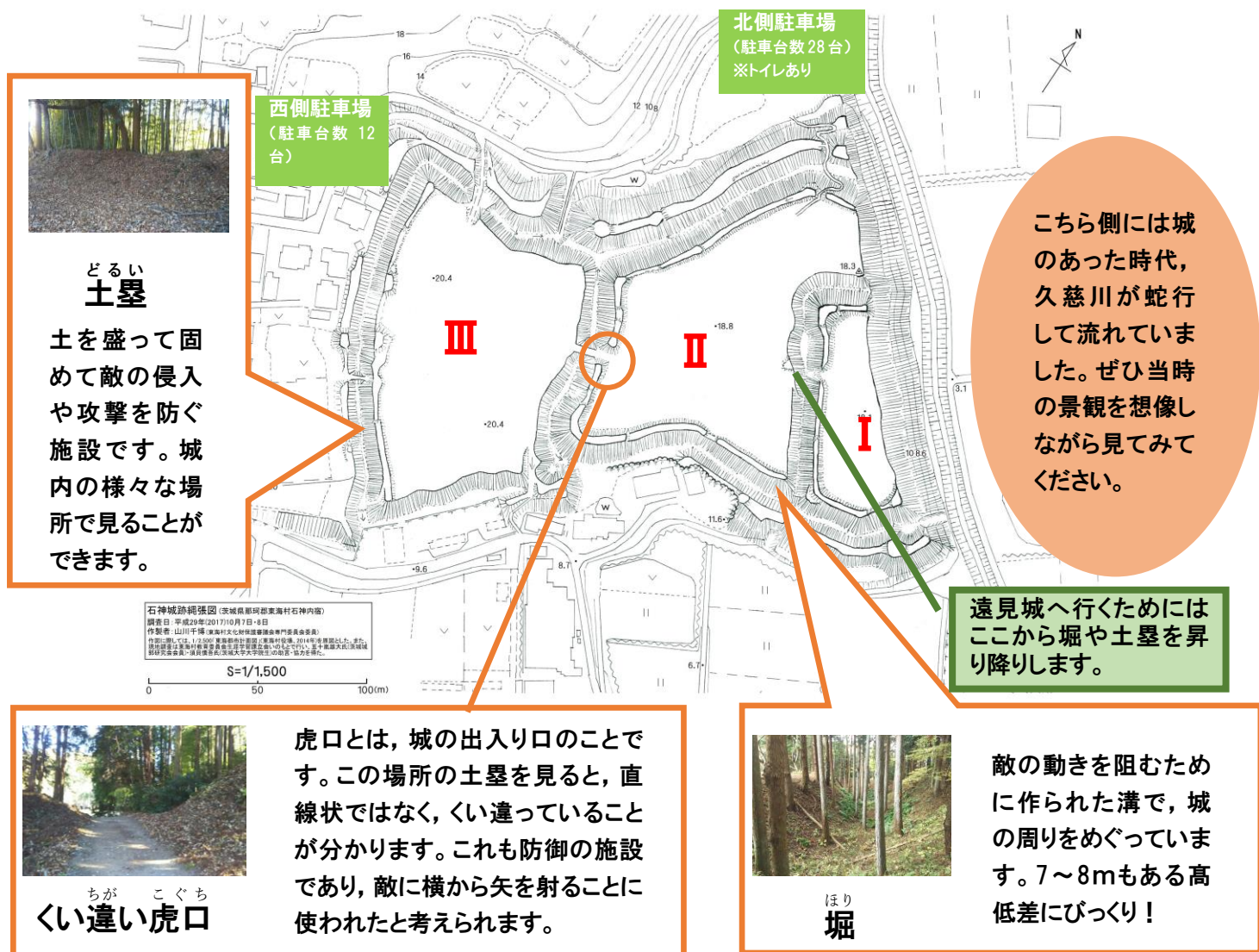
御城に対してより優位な曲輪として機能しており、遠見城は城内序列第 1 位の曲輪でありました。

### 御城(II 郭)

中心の曲輪群のなかでは最も大きな面積で、東西約 100m、南北約 125m の広さです。

### III 郭

石神城の主要部のなかで最も西側に位置した曲輪で、御城について大きな面積を占めました。



### 問い合わせ

東海村教育委員会 生涯学習課 文化財・芸術文化担当  
〒319-1192 東海村東海三丁目7番1号  
TEL 029-282-1711 (内線1423)  
E-mail syougaiakusyu@vill.tokai.ibaraki.jp



